

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年11月21日(2013.11.21)

【公開番号】特開2012-108409(P2012-108409A)

【公開日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【年通号数】公開・登録公報2012-022

【出願番号】特願2010-258645(P2010-258645)

【国際特許分類】

G 0 9 F 9/30 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 2 F 1/1368 (2006.01)

【F I】

G 0 9 F 9/30 3 3 8

G 0 3 B 21/14 Z

G 0 3 B 21/00 E

G 0 2 F 1/1368

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月4日(2013.10.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画素領域に、

走査線及びデータ線と、

前記走査線と前記データ線との交差に対応して設けられ、透明導電材料からなる画素電極と、

前記画素電極と、前記データ線との間の層に、前記画素電極に容量絶縁膜を介して対向するように設けられた蓄積容量電極と、

前記画素領域の外側に、

前記画素電極と同一層からなる第 1 容量電極と、前記蓄積容量電極と同一層からなり、前記データ線と電氣的に接続された第 2 容量電極とを有する付加容量と、

前記第 1 容量電極と電氣的に接続されており、前記画素電極と同一層からなる端子とを備えることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 2】

前記画素電極に対向するように設けられた対向電極と、

前記端子及び前記対向電極と電氣的に接続された導通部材とを備えることを特徴とする請求項 1 に記載の電気光学装置。

【請求項 3】

前記端子と前記第 1 容量電極の間の距離が 1 5 0 0 μm 以内であることを特徴とする電気光学装置。

【請求項 4】

前記透明導電材料は、ITO (Indium Tin Oxide) であることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の電気光学装置。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の電気光学装置を備えることを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の電気光学装置は上記課題を解決するために、画素領域に、走査線及びデータ線と、前記走査線と前記データ線との交差に対応して設けられ、透明導電材料からなる画素電極と、前記画素電極と、前記走査線及び前記データ線との間の層に、前記画素電極に容量絶縁膜を介して対向するように設けられた蓄積容量電極と、前記画素領域の外側に、前記画素電極と同一層からなる第 1 容量電極と、前記蓄積容量電極と同一層からなり、前記データ線と電氣的に接続された第 2 容量電極とを有する付加容量と、前記第 1 容量電極と電氣的に接続されており、前記画素電極と同一層からなる端子とを備える。